



【韓国】 総合指数は 1.8%高と 5 週続伸、米中協議で楽観見通し広がる

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.8%高と 5 週続伸。米中対立を巡る関連報道に左右される展開が続いたが、週初は好調な米雇用統計を受けて過度な景気減速懸念が後退。トランプ米政権が中国製品に課している制裁関税の一部撤廃を検討しているとの報道を受け、投資家心理も改善した。米中貿易協議に対する楽観的な見通しを背景に指数は 7 日まで 6 営業日続伸し、7 日終値は 5 月 8 日以来、約 6 カ月ぶりの高値水準をつけた。ただ、米中首脳会談が「12 月に先送りされる可能性がある」と伝わり、合意の署名時期など先行きに対する懸念が浮上。連日の上昇を受けた利益確定の売りも膨らみ、8 日は前日比 0.3%安と小幅に反落した。今週も引き続き米中協議を巡る関連報道に左右される展開が続くと予想する。13 日に雇用統計が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は 0.9%高と 5 週続伸、今週は米中交渉にらみ売り買い交錯か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 0.9%高と 5 週続伸。米中通商交渉の合意期待や原油相場の上昇で買い優勢の流れが続いた。4 日が祝日による休場のため、4 日間の立ち会い。米中通商協議の進展期待を背景とした欧米株高や原油価格の上昇を受けて投資家心理が改善。国内では追加的な金融緩和に対する期待も買いを促し、RTS 指数は 7 日まで 4 営業日続伸した。8 日はトランプ米大統領が対中関税の撤回には合意していないと表明したことが嫌気され、前日比で 1.3%下落したが、週間では上昇し、6 年ぶりの高値水準を維持した。個別銘柄では、ロスネフチ (4.6%高) やタトネフチ (3.5%高) などの石油株や金融のズベルバンク (1.6%高) の上昇が指数を押し上げた。今週は米中間の関税撤廃関連報道をにらんで売り買い交錯か。

▼指数チャート



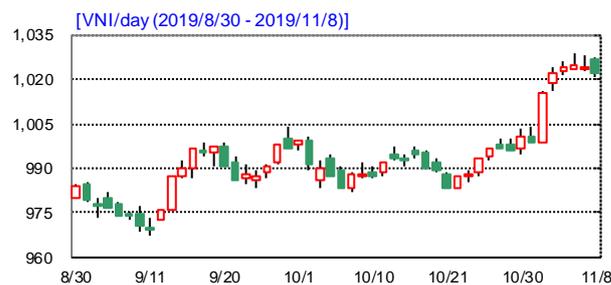
【ベトナム】 ベトナム指数は 0.7%高と 3 週続伸、今週は利益確定売り優勢の展開

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.7%高と 3 週続伸。米中通商協議の進展が好感されて金融株を中心に上昇し、指数は 1 年 5 カ月ぶりの高値を付けた。米中通商協議の進展期待や世界的な景気減速懸念の後退を背景に金融市場全般でリスク選好が強まった。先進国で長期金利の上昇を受けて金融株が買われ、ベトナム市場でも時価総額の大きい金融株を中心に堅調な展開となった。指数は先週末から 4 営業日続伸となり、昨年 6 月中旬以来の水準を回復した。ただ、週後半は米中貿易協議の先行きを巡って不透明感が広がり、上げ幅を縮める展開となった。個別銘柄ではベトナム投資開発銀行 (4.2%高)、ビンホームズ (3.5%高)、ベトナムバンク (3.0%高) などの上昇が指数を押し上げた。今週は高値警戒感から利益確定売りに押される展開か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%安、今週は 15 日に 10 月の貿易統計発表

ジャカルタ総合指数は週間で 0.5%安と続落。米中貿易交渉の進展期待が支援材料となったが、効果は限定的だった。4 日はムルヤニ財務相が今年の財政赤字について、景気低迷による税収圧迫で当初の見通しを上回るとの見解を示したことが嫌気され、指数は 3 営業日続落。一方、5 日は 7-9 月期の GDP が前年同期比 5.0%増と、17 年 4-6 月期以来の低成長に落ち込んだものの、米国が対中関税の一部撤回を検討していると報じられた効果で買われ、前日比 1.4%高と反発した。ただ、その後は買い材料に乏しく 7 日まで続落。8 日は反発したが補えなかった。今週は 15 日に 10 月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート

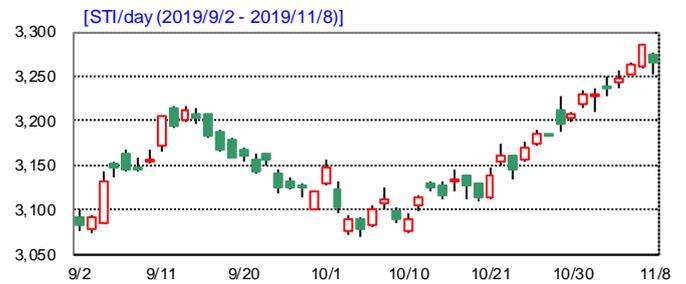


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 1.1%高、7 日に約 3 カ月ぶりの高値更新

スレーツタイムズ指数は週間で 1.1%高と 5 週続伸。週末の反落を除き、堅調な値動きだった。週初の 4 日は前週末の NY ダウが上昇した流れを引き継ぎ反発。その後も好地合いが続く中、じりじりと上値を広げ 7 日まで 4 日続伸した。ただ、8 日は米中貿易協議での合意が発表された追加関税の段階的撤廃について、米国内で強い反発が出ていると報じられた影響で反落して取引を終えている。今週は 12 日に 9 月の小売売上高、15 日に 7-9 月期の GDP 確定値が発表される予定。外部要因では、前週末の NY ダウが 2 日連続で過去最高値を更新した効果や、パウエル FRB 議長の議会証言の内容が注目されそうだ。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.8%高、米中貿易協議の進展を好感

SET 指数は週間で 2.8%高と 3 週ぶりに反発。週初からおおむね堅調に推移した。週初の 4 日は、米中貿易協議が前週末の閣僚級電話会談で進展した効果に加え、6 日開催の中央銀行の金融政策決定会合での利下げ期待で買い優勢の展開となり、指数は前営業日比 1.9%高と 3 日ぶりに反発。6 日は中銀が政策金利を 0.25%引き下げ 1.25%に設定したが、今年の経済成長が当初の見通しを下回るとの見方が示された影響で 3 日ぶりに反落した。一方、7 日は米中協議が前進した効果で前日比 1.0%高と反発したが、8 日は小幅に反落して引けている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開か。

▼指数チャート

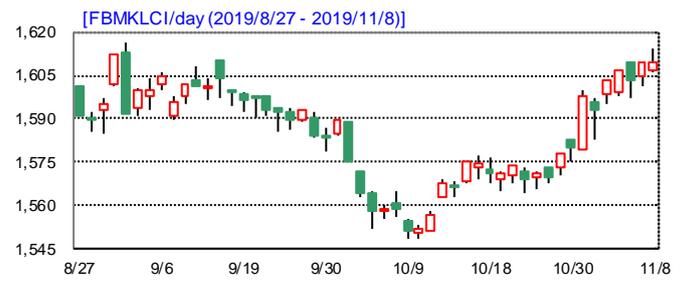


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.0%高、今週は 7-9 月期の GDP が焦点

クアラルンプール総合指数は週間で 1.0%高と続伸。1 週間を通じて、終値で節目の 1600 ポイントを維持した。週初の 4 日は、9 月の輸出額が前年同月比 6.8%減と約 3 年ぶりの大幅減だったものの影響は軽微で、指数は反発。5 日は中央銀行が政策金利を 3.0%に据え置いたことを受けて米ドル安リング高が進み、引け際に買われて続伸した。6 日は反動で 3 日ぶりに下落したが、7 日に反発すると、8 日は中央銀行が預金準備率の引き下げを発表した効果で金融株が買われ、終値で 8 月末以来の高値を更新して取引を終えた。今週は 11 日の 9 月の鉱工業生産に続き、15 日には 7-9 月期の GDP が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。